

議員全員協議会

日 時	令和3年11月16日(火) 閉会中	8時54分 開会 9時33分 閉会
場 所	相良庁舎4階 大会議室	
出席議員	議長 16番 植田博巳 副議長 15番 村田博英	
	1番 石山和生	2番 谷口恵世 3番 絹村智昭
	4番 名波和昌	5番 加藤 彰 6番 木村正利
	7番 松下定弘	8番 種茂和男 9番 濱崎一輝
	10番 原口康之	11番 大井俊彦 12番 太田佳晴
	13番 中野康子	14番 大石和央
欠席議員		
事務局	局長 原口 亨 次長 本杉裕之 書記 大塚康裕 書記 本杉周平	
説明員	市長、副市長、教育長、建設理事、総務部長、企画政策部長、 政策監	
傍 聴		

署名 議長

開会の宣告

○議長（植田博巳君）

皆さん、おはようございます。定刻まで、まだ少しあるんですけども、皆さんお集まりですので、ただいまから議員全員協議会を始めさせていただきます。

本日は、改選後、初めての全員協議会ということで、この後、市長の報告もございますけれども、市長の報告については、質問については市長の報告が全て終わってから質問していただきたいなと思います。よろしくお願いします。

それでは、ただいまから議員全員協議会を始めさせていただきます。

2 市長報告

○議長（植田博巳君）

最初に、市長報告をよろしくお願いします。

市長。

○市長（杉本基久雄君）

おはようございます。私のほうから、まず最初に、現在、第3次総合計画の策定に関わります市内団体との意見交換会を先週より開催をさせていただいています。

昨日までに5回のうちの4回の懇談会が終わりまして、明日が市政経営に関する意見交換会ということで、5回目の最後になります。ということで、そういう中で、議会の皆さんには、毎回、傍聴をいただきましてありがとうございます。また、いろんな意見がまとまり次第、ご報告をさせていただきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

それでは、報告案件をお示ししてございますが、1点目の副市長の人事についてであります。

私としては、横山副市長に引き続き次の4年間もお願いしたいというふうに考えていたところでございます。そうした中で、副市長からは、健康上の理由から治療に専念したいということで、退任の申出がございました。予定どおりでありますと、副市長には12月1日までの任期でありますので、今11月の議会に人事案件を提出させていただき予定でおりましたけれども、そういった関係で、今回、副市長人事については、議案提出を見送りたいということで考えております。

これは、次の人選に当たりましては、今、県からの招聘をお願いしたいというようなことで、県と調整をさせていただいていますが、年度途中というようなこともあって、なかなか人材の確保に時間がかかると、年度替わりのほうがそうしたふさわしい人材が選定できる、お示しできるというようなことで、必ず派遣できるように調整はするということで伺っておりますが、派遣時期につきましては、もう少し時間をいただきたいということでありますので、そういった考えでおりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、副市長のほうから、直接、今の健康上のことについて少し報告をさせていただくとともに、4年間のお礼のご挨拶ということも含めて、ご挨拶とさせていただきたいと思います。

○議長（植田博巳君）

副市長。

○副市長（横山裕之君）

皆さん、おはようございます。

今年の間人ドックによりまして、肺のほうに少し影があるという診断を受けました。紹介状を頂いて総合病院を受診をした結果、間質性肺炎、肺線維症という診断を受けたわけでありまして。毎月のように通院をいたしまして、検査を進めていくということで続けていたわけですが、もう一つ、その検査の中で消化器系の疾患、大腸にもう一つそういった疾患が見つかって、今現在2科を通院して検査をし、経過観察をしているというような状況でございます。

そんな中で市長のほうから継続というお話をいただいて、大変ありがたかったわけですが、今後4年間を考えていきますと、いつ、どうなるか分からないということもあって、皆さんにも、大変迷惑がかかるだろうし、また、私としても健康、治癒をして、療養にあたって健康改善に専念をしたいという思いがありましたものですから、一応、1期4年の12月1日をもって退任をさせていただくということで市長にお願いをいたしました。

そんな中でございますので、あと2週間ぐらいになりましたけれども、また、皆さんにはよろしくお願いをしたいと思っています。

また、ご挨拶につきましては、議会の今度の11月議会の初日の、終わりましたら、改めて、皆さんには、お礼のご挨拶をさせていただきたいと思っていますけれども、副市長にさせていただいて、市の発展、そして、まちづくりの一端を担わせていただいたことは大変光栄でありますし、大変勉強になったなというふうに思っております。

これからも、一住民となりまして、市の発展を願いながら生活したいと思っています。

本当に、あと2週間でございますけれども、ありがとうございました。よろしくお願いをいたします。

○議長（植田博巳君）

市長。

○市長（杉本基久雄君）

それでは、引き続きまして、次の令和4年度牧之原市新春顔合わせ会についてでございます。

例年開催しております新春顔合わせ会でございますが、本年、令和3年の開催につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大から中止をさせていただいて、同日、市の表彰の式典のみ、市議会の正副議長、地区長会の正副会長にご列席をいただきまして、榛原庁舎の会議室において執り行ったところでございます。

現在、令和4年のこの式典につきましては、感染症対策を徹底して開催することで準備を進めさせていただいております。

12月に入りまして、ご案内をお送りさせていただきますので、市議会の皆様におかれましては、ご予約の調整をしておいていただきますよう、よろしくお願いをいたします。

現在の案でございますが、日時につきましては、ここに書いてございますように、令和4年1月4日、火曜日、午後1時開場で午後3時閉会ということで、会場につきましては、ソーシャルディスタンスを確保するという意味から、相良総合センターい〜らのホールを予定しております。式典といたしますか、ご挨拶につきましてはホール、そして表彰式もホールで行いまして、そして、賀詞交歓等の歓談につきましてはガレリアやホワイエを活用して行いたいということで計画しております。

感染症対策として、お茶の乾杯とか、お菓子等を食べながらというのは、やはり好ましくないということですので、お茶については、お茶を飲むスポットは用意いたしますけれども、歓談については、マスクをして歓談をいただくというようなことで予定をしておりますので、よろしくお願いをいたしたいと思っております。

次に、東京五輪の女子サーフィンの金メダリスト、カリッサ・ムーア選手とのWEB会談を土曜日に行いました。

この模様は、静岡朝日テレビで放送されましたけれども、先週13日の土曜日ではありますが、東京オリンピック女子サーフィンで初の金メダリストになったカリッサ・ムーア選手とWEB会談を行ったところであります。この会談は、東京五輪の事前合宿を経て、牧之原市が大好きというカリッサ選手からのリクエストにより実現をしたものであります。

カリッサ選手は今年2020年、2020東京五輪の金メダルと、さらに世界最高峰ツアーである2021シーズン・ワールドサーフツアーを制しまして、5回目の世界一に輝いたサーフィン界の女王に君臨する世界のトップアスリートでございます。

会談では、カリッサ選手から食事や練習環境など、当市のおもてなしへの感謝とともに、静波サーフスタジアムのウェイブプールについても世界一と絶賛をいただきました。また、来春には、当市を再訪し、サーフトレーニングや市民との交流などを行いたいという希望を伺いました。

市といたしましても、このホストタウン事業が最高のレガシーになったこと、今回の事前合宿を契機とした今後の連携についても積極的に取り組んでいくことをお伝えをいたしまして、再会を約束させていただいたところであります。

今後、来年4月予定の来訪に向け、小中高校生などとの交流会、サーフィンスクールなどの企画、受入体制などを調整してまいりますので、市議会のご支援もよろしくお願いをいたします。

私からは、以上でございます。

○議長（植田博巳君）

ありがとうございます。

ただいまの市長の報告について、ご質問のある方、挙手をお願いしたいと思います。

中野議員、お願いします。

○13番（中野康子君）

副市長人事について、本当に長い間お世話になってありがとうございました。

それから、今ご報告がありましたけれども、県のほうからの派遣というのは、いつの時点でそれを決められたのか、そして、どういうふうに県のほうへお願いをしてあるのか、その辺を教えてくださいたいと思います。

○議長（植田博巳君）

市長。

○市長（杉本基久雄君）

市長選が終わりまして、事前には副市長には打診をしたりしておりましたけれども、健康上の理由ということは、内々は伺っていたわけですが、正式には私が再任するまでは動けないということですので、その再任後、副知事にお会いをさせていただいて、そして、人事の局長、あるいは部長とも面談をさせていただいたところでございます。

そうした中で、ある程度、空白がない形で最初はお願いをいたしました。ところが、やはり今、それなりのお方というのは、県の中でそれなりのポストを持っておりまして、年度途中でそれを引き抜いて派遣するということは、非常に県としても厳しいということと、最近、各市町から、県からの副市長、副町長の要請が非常に多いというようなことで、県としても今は年度途中だと人材的に非常に厳しい、牧之原市さんにお応えできるような、仕事ができるような方を派遣するとなると年度替わりまで待っていただけないかと、こういったお話をいただいておりますので、できるだけ早い段階でいただきたいということはお願いはいたしましたけれども、それなりの人物をお願いしたいということからすると、年度替わりまで少し空白ができてしまうかなというのを感じているところでございます。

その間、部長職や専門監を含めて、みんなで盛り上げていただいて、行政が滞ることがないように対応させていただきたいというふうに思っております。

○議長（植田博巳君）

中野議員。

○13番（中野康子君）

お話を伺いまして、よく分かりました。

そうすると、お願いするに当たりましては、技術職ではなく一般職の方をお願いしたということでもよろしいでしょうか。

○議長（植田博巳君）

市長。

○市長（杉本基久雄君）

これは、まだ、技術職になるのか事務職になるのか、総合的に県のほうで、そのふさわしい人材、私はこういう人材が欲しいということはお願いをしておりますが、それが事務職になるのか技術職になるのかというのは、やはり最終的には決定権は知事にあるということですので、その辺は県のほうに委ねてあるというところでございます。

○議長（植田博巳君）

ほかにありませんか。

石山議員。

○1番（石山和生君）

ちょっと自分の勉強不足かもしれないんですけども、副市長の方を、今、県の方に依頼するというようなお話だったと思うんですけども、いろいろオプションがある中で、県のほうに、例えば、隣の掛川とかだと、民間の方を募集していたりだとか、いろいろあったと思うんですけども、この決め方というのは、どういったところからなのでしょう。

○議長（植田博巳君）

市長。

○市長（杉本基久雄君）

今、我々、牧之原市が置かれている現状は、社会基盤整備やそのほかの産業、経済も含めて、あるいは福祉にも含めてですが、県との関係というのは非常に大きいんですね。隣の吉田町とか焼津市とかいうのは国直轄、あるいは藤枝市、島田市なんかも国直轄の国道があったり海岸があったり河川があったりということで、国という選択もあるわけですが、我々のところは、国道は二級国道、二級河川、そして海岸もほとんどが県管理というようなことでありまして、そうした社会基盤整備を行うにしても、やはり県との連携、パイプが非常に重要になってまいります。

一つには、掛川市のように全国公募をするというようなこともあるわけですが、二人制であるならば、そういった方法もあると思うんですが、我々のところは今、1人でございますので、そういった意味では、まず、そういったまちづくりについて詳しい、また、県あるいは国との関係性が深い、そういった人物をお願いしたいということで考えたところでございます。

○議長（植田博巳君）

石山議員。

○1番（石山和生君）

大変参考になりました。ありがとうございました。

○議長（植田博巳君）

ほかにありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（植田博巳君）

ないようですので、市長報告の質問については終了させていただきます。

そのほか、今の件以外に何かありましたら、この際ですので質問を。ありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（植田博巳君）

ないようですので。どうもありがとうございました。

3 議長・関係議員・委員会報告 (1) 会議等の結果

○議長（植田博巳君）

次に、議長・関係議員・委員会報告をお願いいたしたいと思います。

まず最初に私のほうから。11月14日、日曜日ですけれども、勝間田城趾545年祭に出席させていただきました。地元の議員の方の出席もいただきまして、ありがとうございました。

この勝間田城趾については、昨年、森林伐採がされて、その遺跡の城趾の跡がくっきり見れるように、見学も自由にできるようになっておりますし、その場所から見る眺望も当時と同じ、ちょっと静岡空港ができたということで変わっているとは思いますが、545年前の眺望が眺められるということで、ぜひ議員の皆様も足を運んで見ていただきたいなと思います。

以上です。

濱崎議員。

○9番（濱崎一輝君）

11月15日に、昨日ですけれども、駿遠学園管理組合議会の定例会が行われました。

これまで空白になっておりましたが、新しい議長と副議長が選任されましたけれども、私は副議長に就任をいたしました。

議案としては1件のみですけれども、令和2年度の一般会計歳入歳出の決算の認定についてのみ行われました。

以上となっております。

○議長（植田博巳君）

ありがとうございます。

私からもう一回すみません。11月15日から3日間、今日、明日まで、正副議長の挨拶回りということで、関係する市議会に出向いてまいります。

以上です。

ほかはありませんね。

〔「なし」と言う者あり〕

3 議長・関係議員・委員会報告 (2) 議会運営委員会

○議長（植田博巳君）

次に、議会運営委員会から報告を願います。

大石議員。

○14番（大石和央君）

議会運営委員会、11月12日の件でありますけれども、まず、アとしまして、11月定例会についてということであります。

提出予定議案につきましては、資料1を見ていただければ分かると思います。

そして、委員会付託につきましては、総務建設のほうは第59号、第60号、文教厚生委員会につ

きましては第56号、第57号、第58号ということで、お願いをしたいというふうに思います。

それから、第55号の監査委員につきましては、11月29日に議決をするということで、あと諮問第3号、第4号の人権擁護委員につきましては、12月7日に議決をするということになりますので、ご承知おきください。

そして、次にイです。人事院勧告に基づく議員の期末手当の取扱いについてということですが、資料がありますけれども、これは行政側のほうで、まだ、職員のほうとか特別職に関しまして、閣議決定が今されていないという形で、この取扱いについては、まだ具体的には出ていません。そして、議案を上程するかどうかというのが、24日以降にならないと分からないという情報であります。

そして、議員につきましては、人事院勧告、期末手当0.15か月分の引下げということになるわけなんですけれども、これについても、まだ具体的なことは説明されていませんので、それを見て、どうするのか、この取扱いについてを決めていきたいというふうに考えるということになりました。

事務局のほう、まだ説明します。具体的なもの。

○事務局次長（本杉裕之君）

私のほうから簡単な補足をします。

まだ、委員長が言いましたように、正式通知は来週24日ぐらいになるんですけれども、先週末の段階で情報が入りまして、人事院勧告の制度を尊重という姿勢を維持しつつも、人事院勧告の実施については、国政全般の観点、特に、現在、検討が進められている経済対策と政府全体の取組との関係も見極めるということで引き続き検討と。それで、経済対策の閣議決定後、速やかに方針を決定するという流れになるようです。

地方公共団体におきましては、給与改定の検討に当たって、引き続き政府の検討状況を注視しつつ適切に対応してくださいというような情報が入っております。

それで、あともう1点、資料2の6ページをご覧くださいませでしょうか。

条例改正の準備をしまして、この資料をつけてありますけれども、真ん中の令和3年分期末手当の支給額というところの表をちょっと見ていただきたいんですけれども、新議員になられた8名の方につきましては、12月の期末手当というのは12月1日現在を基準日とします。それで、皆さんはまだ議員さんになられたばかりですので、計算方法が議員の報酬の条例の中にあるんですけれども、100%にはならず、30%を掛けるというような形で支給されますので、今これ0.15か月分引いたものが新議員さんは15万6,026円となっていますけれども、1.825のままいきますと16万9,998円くらいになるんじゃないかなと。満額支給にはなりませんので、そこだけご承知おきください。

以上です。

○議長（植田博巳君）

大石議員。

○14番（大石和央君）

次に、議運の視察研修についてということであります。

この時期になりますと、これまでは改選後、議運の視察をしておりました。今回も議運の中では、視察ができればしていこうということでもありますけれども、いずれにしてもコロナ禍の中で受入体制がされるのかどうかも分かりませんので、その辺りのところを見ながら行っていきたいというふうなことといたしました。

次に、新議員研修についてですけれども、本日、この協議会が終了後、正副議長と私とで新議員研修を行っていききたいと思っております。内容は議会基本条例を中心として行っていきますので、よろしくお願いいたします。

次にカです。コロナ禍における行政視察の受入れについてということで、資料3ですけれども、先ほども行政視察等のことがありましたけれども、受入れについて、今、市のホームページでは、私たちのところでは、当面の間、行政視察の受入れを見合わせますというようなことでホームページに掲載しているところでもありますけれども、全国市議会議長会から行政視察の取扱いについてということで、基本的な感染症防止対策を徹底した上で適切に計画していただきたいというようなことで、解禁というのもおかしいんですけれども、今までは見合わせてきたところを、コロナ禍の状況を見ながらやっていただきたいというような、こうしたものが出ました。

そこで、先ほども言いましたように、私たちのところでも原則的に受入れをしていきながら、コロナの状況を見ながらという形で、文言はどうか、まだ、事務局のほうでは何か考えていただいたのかもしれませんが、後から言ってください。

そんな形でホームページのほうには掲載をしていきたいというふうに考えています。

その後、次長、何かありますか。

○事務局次長（本杉裕之君）

今、委員長がおっしゃったとおり、市議会のホームページに、今、当面の間、行政視察の受入れを見合わせますという言葉が載っていますので、今、言われたように、感染状況に応じて受け入れるような、状況を見ながら受け入れますというような言葉で、ちょっと他市町も調べてみながら、そういう受入れができるような形で文言を変えたいと思いますので、しばらくお待ちいただきたいと思います。

以上です。

○14番（大石和央君）

議員の連絡網についてということで、資料4を見ていただきたいと思います。

このような形で連絡網を作っているというので、これは議員災害行動手引書の中での差し替えをお願いしたいということです。これはよろしいですね。

次、ク、令和4年度当初予算（議会費）についてということで、これは事務局のほうでよろしくをお願いいたします。

○議長（植田博巳君）

次長、お願いします。

○事務局次長（本杉裕之君）

では、私から説明します。1から5の資料を一つ戻っていただきまして、別で資料6というのがありますので、そちらをちょっと開いていただいってもらってよろしいでしょうか。

令和4年度の1次査定ということで、11月9日に財政課による査定を受けました。その結果を反映したものを議会費に関係するものを表にさせていただきました。

それで、令和4年度につきましては、このように今、組んであるんですけども、本年度、令和3年度の予算につきましては、編成のときに前年度の20%カットという形で予算編成を求められてまして、本来計上したかったものもついていないような状態がありましたので、令和4年度につきましては、20%を上限とする中でも議員さんの活動に必要な予算については要求させてもらうという形を取らせていただいております。

まず議員報酬等、こちらのほうの項目では共済費が前年対比のマイナスのなっておりますけれども、これにつきましては負担金率が変更になっておりますので、減っているというようなものになっております。

次に、議会運営費。こちらにつきましては報償費が22万円増額になっております。これは議員さんの研修会でお呼びする講師の謝礼を今年度よりも上げております。これは20%カットになる前の状態に戻したような形で要求させていただいております。

次に、費用弁償ですけれども、こちらが142万5,000円増額になっておりますけれども、これは皆さんの視察研修の費用になります。今年度は各常任委員会、1泊2日で計上させてもらっておりますけれども、ここを2泊3日に戻したいと思っております。本年度につきましては、議会運営委員会、あと議会広報特別委員会、こちらのほうが未計上となっておりますので、新年度につきましては、1泊2日で予算を要求したいと思っております。

次に、需用費。こちら消耗品になるんですけども、こちらは本年度につきましては改選がありましたので、新しい議員さんのいろんな備品を購入する等ありましたので、こちらは来年度はなくなりますのでマイナスになっております。

次の役務費につきましては、筆耕翻訳料ということで、会議録等を起こしていただく会社の見積額が少し上がっておりますので、そちらが増額になっております。

続きまして、使用料。こちらにつきましてもLINE WORKSの利用料、ちょっと事務局の台数が1台足りないのので、そちらを1台追加させていただいております。

負担金につきましては、会議開催の回数が減っている、コロナ等でオンラインになったりとか、集まる機会がなるべく減らすという形で動いておりますので、それで減っている回数分を減らしております。

議長交際費は、変わらず要求させていただきます。

議会事務局運営費ですけれども、こちらにつきましては、議員さんたちの視察研修に私たち事務局職員も随行する関係で、同じように随行費用として上げさせていただいております。

全体を見まして68万6,000円の増額になるわけですがけれども、こちらの要求を上げていきたいと。まだ1次査定の段階ですので途中報告になりますけれども、また、2月の定例会には当初予算を上げるような形になりますので、また、予算が固まったところで皆さんに報告させていただく形を取らせていただきたいと思います。

以上です。

○14番（大石和央君）

次に、ケですけれども、令和4年度議会スケジュールについてということで、資料5にありまして、年間の予定になっております。また、これにいろんなものが加わっていきますので、よろしくをお願いします。

最後のコですけれども、議会防災訓練ということで、12月5日の地域防災訓練でありますけれども、タブレット端末を使った訓練を実施したいということです。

それで、まず安否の報告を、9時からですので安否の報告をしてもらいまして、その後、正副議長に関しては庁舎に登庁ということになりますけれども、その他の議員につきましては、場所の報告をしてもらうと、避難所の報告をしてもらうということと、同時に、今回は議員間におけるビデオ通話の訓練をするということを行いたいということでもあります。その中で、タブレットのやり方ですね。もう一度、送信の訓練をしなくちゃいけないということになりますので、そのところの日程を調整しなければならないと思いますけれども、事務局のほうで何か考えていることがありましたらお願いいたします。

○議長（植田博巳君）

事務局。

○事務局次長（本杉裕之君）

それでは、今、お話がありました12月5日の地域防災訓練のタブレットを使用した訓練を実施するに当たりまして、皆さんに、この中で今、説明があった議員間におけるビデオ通話訓練という形で、LINE WORKSを通じてビデオ通話を、この人数全員でやれる機能がありますので、それを使った訓練をやりたいと。

9月の防災訓練のときに一度やったんですけれども、防災訓練自体が中止になりまして、今回、半分新しい議員さんにもなられていますので、簡単な操作研修を実施したいと思います。

それで、12月5日に近いスケジュールでという話も受けていますので、そうなりますと、11月29日に11月定例会の初日の提案説明があります。それが終わった後に30分から1時間程度で、その辺の操作のほうの研修会をやったらどうかと、今、考えていますけれどもいかがでしょうか。

○議長（植田博巳君）

今、事務局からお話がありましたように、11月29日の定例会の初日の終了後、研修をどうしようかという話ですが、よろしいですか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議長（植田博巳君）

じゃあ、その日でセットしてください。

○事務局次長（本杉裕之君）

ありがとうございます。

それと、委員長の説明の補足なんですけれども、先ほど言いましたように、正副議長さんは、9時が地震発生の想定時間になりますので、地震が発生したら、皆さん最初に安否報告をLINEでいただきまして、正副議長さんは相良庁舎へ登庁するんですけれども、ほかの議員さんは、各自主防災会の拠点へ行っていただくに当たりまして、特に新しい議員さんは、ご自分の行かれる場所をちょっと確認をしておいていただきたいなと思いますので、そちらのほうもよろしくお願ひしたいと思います。

以上です。

○議長（植田博巳君）

大石議員、よろしいですか。

○14番（大石和央君）

以上、終わります。

○議長（植田博巳君）

今、議会運営委員会の委員長から報告がございましたけれども、これについて何かご質問はございますでしょうか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（植田博巳君）

ないようですので、議会運営委員会からの報告を終了いたしたいと思います。

4 協議事項

○議長（植田博巳君）

次に、協議事項ですけれども、今日の全協での協議事項は、今はないということでありまして、よろしくお願ひします。

5 その他

○議長（植田博巳君）

次の、その他でございますけれども。

太田議員。

○12番（太田佳晴君）

18日、19日で予定しております常任委員会合同協議会ですけれども、当日の報告案件もそんなに多くないということで、文教の委員長と相談しました結果、18日、一日で開催したいと思いますので、19日は中止ということでお願ひします。

○議長（植田博巳君）

分かりました。

皆さん、18日、19日の常任委員会が計画されていましたが、今、委員長から報告のとおり、18日、一日で行いますので、よろしく願いいたします。

それから、私のほうからは1点、脱原発自然エネルギー推進静岡議員の会というところから、議員の皆様へという資料配布の依頼がありましたので、状差しに入れさせていただきますので、よろしく願いいたします。

以上で全員協議会を閉会といたします。お疲れさまでした。ありがとうございました。

[午前 9時33分 閉会]